

はじめに	1
第1章 e-Learning に至るまで	11
1. 処理形態の変遷	11
(1) ティーチングマシン 12	
(2) CAI/CMI 13	
(3) ITS 14	
(4) CBT 15	
(5) CSCL/CSCW 16	
(6) WBT 16	
(7) e-Learning 18	
2. 政策の変遷	19
(1) e-Japan 戦略 19	
(2) u-Japan 推進計画 22	
章末問題	23
第2章 e-Learning 概説	24
1. e-Learning の定義	24
2. e-Learning の利点と課題	26
(1) e-Learning の利点 26	
(2) e-Learning の課題 28	
3. e-Learning による学びの変容	29
章末問題	31
第3章 e-Learning システム	32
1. プラットホーム	32
(1) LCMS 33	
(2) LMS 35	
(3) LSS 37	

2. 標準化動向	42
(1) LOM 規格	43
(2) LIP 規格	43
(3) SCORM 規格	44
(4) QTI 規格	45
3. インストラクショナルデザイン	45
(1) ソフトウェア開発プロセスと ID プロセス	46
(2) ID プロセスの概要	47
4. 製品事例とその利用	54
(1) HIPLUS の教育場面における効果	54
(2) HIPLUS の機能	57
章末問題	63
第4章 e-Learning の取り組み	65
1. 各教育現場での比較	65
(1) 教育のあり方	65
(2) IT 環境と e-Learning の活用	67
2. 初等中等教育での取り組み	69
(1) 教育の情報化	69
(2) IT 環境	75
(3) e-Learning の事例	78
3. 高等教育での取り組み	84
(1) 大学での単位認定	84
(2) IT 環境	86
(3) e-Learning の実態調査	89
(4) e-Learning の事例	93
4. 企業内教育での取り組み	97
(1) 企業内教育の実情	97
(2) 企業の情報化	99

(3) e-Learning の実態調査	102
(4) e-Learning の事例	106
5. 生涯教育での取り組み	110
(1) 審議会の活動	111
(2) 生涯教育の情報化	112
(3) IT 環境	114
(4) e-Learning の実態調査	116
(5) e-Learning の事例	118
章末問題	122
第5章 e-Learning 業界	124
1. 業界の枠組み	124
(1) ベンダの分類	125
(2) 事業の内容	125
2. 職種の分類	128
(1) eLC による職種	128
(2) eLPCO による職種	129
(3) ID と職種の関連	131
3. 関連資格制度	132
(1) 教育情報化コーディネータ	133
(2) eラーニング・プロフェッショナル資格制度	134
(3) SCORM アセッサ資格制度	135
章末問題	138
おわりに	140
参考文献	145